



2

取って台紙に貼る「ことばの貯金箱」に取り組んだり、教師による新聞の紹介を行った。4年生から6年生では、自分の興味のある記事や授業に関係がある記事をスクラップすることにも取り組んだ。

各学年の授業実践では、新

新聞に慣れ親しむための環境づくりや新聞を活用した授業実践を行ってきたことで、児童が新聞に興味をもって読む姿が少しずつ見られるようになり、徐々に社会の出来事に目を向けることができるようになってきた。

実践2年目の17年度は、児

童が主体的に新聞に関わることができるよう環境づくりや、新聞を有効に活用した授業実践を考えていく。児童の考えや見方が広がるように、交流活動を工夫していきたい。

(柴田小学校教諭 松永秀子)

第1週掲載

社会への関心高まる

柴田小では校内研究として、全教科・領域で新聞を取り入れたNIEの実践に全校で取り組んできた。これは、児童の学習への関心・意欲を高め、自分の考えを持って表現する力を育てることを狙いとしたものである。

実践1年目の2016年度は、まず児童を新聞に慣れ親しませようと考え、環境づくりに着手した。NIEコーナーや新聞コーナーを各階のホールに設置。いつでも新聞を目にし、手に取れるようにした。

また、業前活動の時間に週1回15分間のNIEタイムを設定した。NIEタイムでは、新聞から気になる言葉を切り

聞を活用し、学ぶ意欲を高めるとともに学び合う場を設定した授業づくりを行った。2年生では、国語の授業で子ども新聞の動物の記事から動物の秘密クイズを作る学習を行った。新聞記事から大切な言葉を見付けて、動物のクイズを作ることができた。

また、4年生では社会の授業の導入で食品ロスの記事を表示したことで、食品のこみがあることに気付き、食品ロスを減らすために自分たちができることについて考えることができた。

宮城県柴田町柴田小

メモ 児童50人。坂本忠厚校長。1873年開校の入間田小学校と、槻木小学校の葉坂・成田両分校が統合して1958年に開校。

仙南中央部の北西部に位置している。宮城県柴田町葉坂鍛冶内30。



NIEタイムにことばの貯金箱に取り組み1年生